

全学共通科目の概要・都市教養プログラムのねらい


基礎教育センター・教授

舛本 直文

首都大学東京が目標とする
教育と教育課程

■基礎教育センター

■舛本 直文




2007 FD-SD協治セミナー 1

首都大学東京学則

■目的及び使命

■第1条 首都大学東京は、東京都における学術の中心として、東京圏の教育機関及び研究機関等と連携して、大都市における人間社会の理想像を追求することを使命とし、広い分野の知識と深い専門の学術を教授研究するとともに、大都市の現実に立脚した教育研究の成果をあげ、豊かな人間性と獨創性を備えた人材を育成し、もって都民の生活と文化の向上及び発展に寄与することを目的とする。



2007 FD-SD協治セミナー 2


教育基本法

●(大学)

第七条 大学は、学術の中心として、高い教養と専門的能力を培うとともに、深く真理を探究して新たな知見を創造し、これらの成果を広く社会に提供することにより、社会の発展に寄与するものとする。

2 大学については、自主性、自律性その他の大学における教育及び研究の特性が尊重されなければならない。

(施行：平成18年12月22日：新規定化)



2007 FD-SD協治セミナー 3


学校教育法(現行と改正の方向)

● 第5章 大学

● 第52条 大学は、学術の中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させることを目的とする。

● (改正案)第2項を追加

● 2 大学は、その目的を実現するための教育研究を行い、その成果を広く社会に提供することにより、社会の発展に寄与するものとする。




2007 FD-SD協治セミナー 4

首都大学東京学則

■目的及び使命

■第1条 首都大学東京は、東京都における学術の中心として、東京圏の教育機関及び研究機関等と連携して、大都市における人間社会の理想像を追求することを使命とし、広い分野の知識と深い専門の学術を教授研究するとともに、大都市の現実に立脚した教育研究の成果をあげ、豊かな人間性と獨創性を備えた人材を育成し、もって都民の生活と文化の向上及び発展に寄与することを目的とする。



2007 FD-SD協治セミナー 5


首都大学東京学則

■教育課程の編成方針

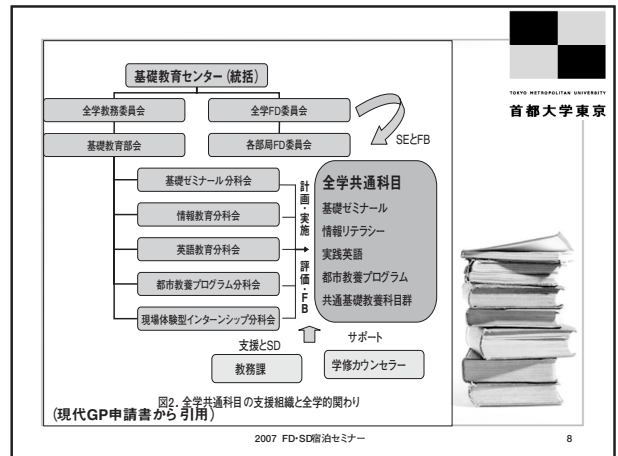
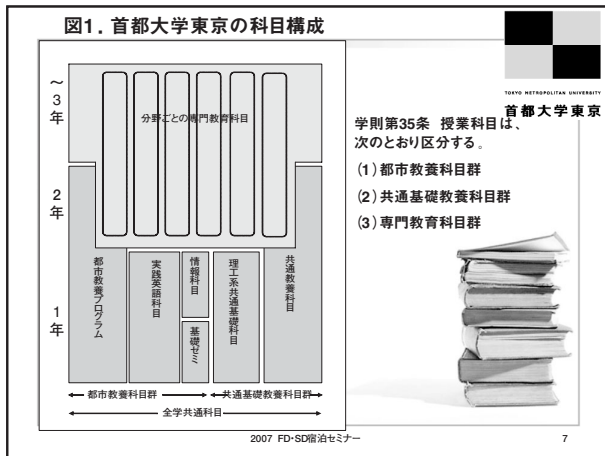
■第34条 教育課程は、学部及び学科の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を解説し、体系的に編成するものとする。

■2 (略)

■3 教育課程の編成については、常に点検及び評価を行い、その改善に努めるとともに、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究の実施に努めるものとする。(自己点検・評価とFDの規定)



2007 FD-SD協治セミナー 6



大学設置基準

• (単位)

• 第二十一条 各授業科目の単位数は、大学において定めるものとする。

• 2 前項の単位数を定めるに当たっては、一単位の授業科目を四十五時間の学修を必要とする内容をもつて構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

2007 FD-SD醸造セミナー 9

大学設置基準

一 講義及び演習については、十五時間から三十時間までの範囲で大学が定める時間の授業をもつて一単位とする。

二 実験、実習及び実技については、三十時間から四十五時間までの範囲で大学が定める時間の授業をもつて一単位とする。ただし、芸術等の分野における個人指導による実技の授業については、大学が定める時間の授業をもつて一単位とすることができる。

2007 FD-SD醸造セミナー 10

首都大学東京のめざすもの (HP)

■ 首都大学東京では、大都市における人間社会の理想像の追求を大学の使命とし、特に次の3点をキーワードに、大都市東京ならではの都市に立脚した教育研究に取り組みます。

■ 01 都市環境の向上

■ 02 ダイナミックな産業構造を持つ高度な知識社会の構築

■ 03 活力ある長寿社会の実現

2007 FD-SD醸造セミナー 11

都市教養科目群のねらい (HP)

■ 基礎ゼミナール
「基礎ゼミナール」では、25人程度のグループに分かれて、調査・討論・プレゼンテーション等を行います。

■ 英語教育
「英語教育」では、レベル別クラスによって実践的な英語を習得することができます。

■ 情報教育
「情報教育」では、パソコン等の活用能力だけでなく、課題を解決できる能力を身につけることができます。

■ 都市教養プログラム
1,2年次を中心に履修する「都市教養プログラム」には、...所属するコース・学科に関わらず、幅広い学問分野を学ぶことができます。

次は、4分野の科目の紹介とねらい・問題などの紹介です

2007 FD-SD醸造セミナー 12

全学共通科目のねらい

■都市教養プログラム
舩本 直文 (基礎教育センター教授)

■基礎ゼミナール
青塚 正志 (理工学系教授)

■実践英語
加藤 光也 (基礎教育センター教授)

■情報リテラシー
永井 正洋 (基礎教育センター教授)

2007 FD・SD宿泊セミナー 1

都市教養プログラムのねらい

■舩本 直文
(基礎教育センター 教授)

2007 FD・SD宿泊セミナー 2

都市教養プログラムとは (HP)

■4年間の履修の流れ (HP)

首都大学東京に入学すると、主に1, 2年次に履修する「都市教養科目群」「共通基礎教養科目群」の学習を通じて、都市の抱える課題とその解決技法、大学で学ぶための基礎力、専門教育の前提となる基礎的知識・技術を学びます。そして3, 4年時では、2年次までに習得した教養を土台にして、より専門的な内容を学んでいきます。

2007 FD・SD宿泊セミナー 3

都市教養プログラムとは (HP)

■1,2年次を中心に履修する「都市教養プログラム」には、下記の科目があり、みなさんが所属するコース・学科に関わらず、幅広い学問分野を学ぶことができます。

■この中では、都市にまつわる4つのテーマに沿って、学問分野による4つの学系と実験・体験型科目(インターンシップ)から総合的に学びます。

■これは、都市教養教育の中心部分であり、首都大学東京のアイデンティティとして、すべての学生が履修するものです。

■みなさんは、この中から、一つ以上のテーマを選びます。そして、そのテーマについて、実験・体験型を含む5つの系のうちから4つの系にわたって履修します。

2007 FD・SD宿泊セミナー 4

表1.都市教養プログラムの4テーマ・5系列と授業例

系 テーマ	人文・社会 科学系Ⅰ	人文・社会 科学系Ⅱ	技術・自然 科学系Ⅰ	技術・自然 科学系Ⅱ	実験・体験 型科目
文化・芸術・歴史	* 自然と文明の哲学 都市の歴史と文化	* 都庁の仕組みと仕事 * 都市社会学	数学の歴史と建築文化論	大地の成り立ちを探索 都市空間の人文地理	現場体験型インターンシップ
グローバル化・環境	* 環境と生命の倫理 科学哲学	環境と法 開発と環境 * 都市社会学	都市の生活環境と化学物質 電気エネルギーと環境	細胞生物学 * 進化生物学 生態と環境	
人間・情報	心の哲学 言語科学入門 生活の心理学	情報社会と法 * 社会調査法 * 都市社会学	* 集合と論理的思考 計算の理論	* ゲノム科学 神経生物学 * バイオテクノロジー	
産業・社会	* 科学哲学 産業と歴史 * 都市の歴史と文化	* 都市社会学 * 社会調査法 社会と福祉	確率統計と数理ファイナンス 現代社会・化学の役割	* ゲノム科学 * バイオテクノロジー 感染症と再生医療	

※は複数のテーマの授業科目

2007 FD・SD宿泊セミナー 5

現場体験型インターンシップ (履修の手引)

■実験・体験型科目

■さまざまな課題を抱える大都市東京での現場体験を通じて、大学生活の早い時期に自分自身及び社会の課題についての認識を深め、課題に主体的に取り組む意識と責任感、社会人として必要な基礎的コミュニケーション能力を向上させることを目的としている。

■事前学習

■夏季休業中:実働6日間以上の実習

■事後学習

■1, 2年での履修を推奨

2007 FD・SD宿泊セミナー 6

都市教養プログラムの制度

- 1年から4年まで 選択できる
(参考:健康福祉、システムDは1,2年で履修を推奨:遠距離のため)
- 必修14単位
- 1テーマ決定
- 文系2, 理系2の4系及びインターシッ
プ含め5系から4科目8単位以上
- 任意選択科目3科目6単位以上
- 希望テーマ・学系選択 (実際は系、学
科、コースにより指定や推奨がある)

2007 FD・SD宿泊セミナー 7

「都市教養プログラム」 学生アンケート結果

全学共通科目 (学習成果) (学際的・総合的に学ぶことが できたか)		全学共通科目経年比較 (学際的・総合的に学ぶ ことができたか)	
入口 (2005前期)	2.82	2005年後期	2.63
出口 (2006後期)	3.04	2006年後期	3.04
差	0.22	差	0.41
p<0.05		p<0.05	

この2年間で、改善状況は窺える

2007 FD・SD宿泊セミナー 8

都市教養プログラムの問題点 =通称:ピンゴ表

- 固定時間割制
月・火(人・技I)、木・金(人・技II)
原則1,2時限配置(例外3時限7科目)
- 実際は系、学科、コースにより指定や推奨が
ある(法学系、SD、健康福祉等、看護学科は
12単位が必修・選択推奨)
- 選択の余地が少ないという時間割上のクレ
ームが多い。
- テーマをまたがるオールマイティ科目に集中
- インターンシップで、文・理の系が偏る
- 都市に関する内容ではないという意見
- 自由記述で改善要望が多い科目

2007 FD・SD宿泊セミナー 9

都市教養プログラムの改善に向けて

- 当初計画は、主題別科目構想
- 都市教養プログラムへと移行
- 推奨科目で基礎専門科目化?
- 首都大学のアイデンティティ形成のた
めのコア・科目になりうるか?
- 完成年度以降の改革への検討開始?
- 個人ではなく、大学教員団でより良い
授業づくりへの絶え間ない工夫→FD

2007 FD・SD宿泊セミナー 10

